

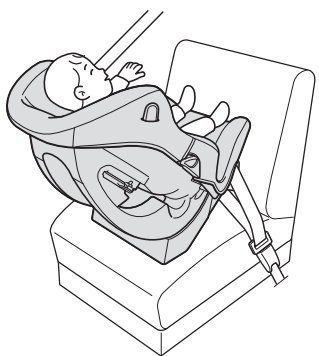
コンビ チャイルドシート ウィゴーロングシリーズ

取扱説明書 品質保証書付

- お子さまの安全のため、ご使用前に必ず本書をよく読み、十分ご理解の上、正しくご使用ください。
- 品質保証書に、必要事項をご記入ください。
- 本書は**本体裏側下部の収納用ポケットに保管してください。**

本製品は、[UN R44/04]において認可された商品です。

- 汎用型(ユニバーサル):質量グループ0, 1, 2
- 体重:重:~25kg以下の乳幼児用
- 本製品はUN R16または、他の同等の基準に基づいて認可された3点式シートベルトを装備した車種に限り適しています。
- 弊社の「取付確認車種リスト」をご確認の上、ご使用ください。



危険	お子さまの体重が9kg以上になるまで前向きで使用しないこと
注意	お子さまへの負担を考え、長時間連続しての使用を避け、1時間程度を目安に休憩をとってください。また、首がずわるころまでは、お子さまの体調の変化に気をつけながらご使用ください。

4. 使用条件

ここでは、お子さまの体重による取り付けの向き、インナークッションの使いかたを説明しています。お子さまの体重にあわせて正しくお使いください。

体重 10kg未満	体重 9kg以上 18kg以下	体重 15kg以上 25kg以下
ベビーモード	チャイルドモード	ジュニアモード
●進行方向に対して後向き ●体重7kg未満の場合、インナークッション頭部用と座面用を必ずセットで使用 ●体重7kg以上10kg未満の場合、インナークッション頭部用のみ、お子さまの体型に合わせて任意で使用する ●幼児ベルトを必ず使用	●進行方向に対して前向き ●インナークッションは使用禁止 ●幼児ベルトを必ず使用	●進行方向に対して前向き ●インナークッションは使用禁止 ●幼児ベルトは使用せず、車両シートベルトを使用
警告 必ずインナークッションを正しく取り付けて、お子さまの体にフィットした状態で使用してください。		
使用の目安 身長目安: ~75cm程度 年齢目安: 新生児~1才ころ ※新生児とは、体重2.5kg以上かつ胎月数37週以上	使用の目安 身長目安: 75cm~105cm程度 ※後頭部が本体の背もたれから上に出ないこと 年齢目安: 1才~4才ころ	使用の目安 身長目安: 95cm~120cm程度 ※後頭部が本体の背もたれから上に出ないこと 年齢目安: 3才~7才ころ
危険	●体重が9kg未満の場合は必ず後向きでご使用ください。前向きでの使用は非常に危険です。 ●「身長目安」や「年齢目安」はあくまでも目安です。身長や年齢が上記条件を満たしていても、「体重条件」を満たしていないお子さまはご使用になれません。	

7. 安全にお使いいただくために

警告

- 幼児ベルトがたるんだ状態**で使用しないでください。ベルトが首に巻き付き、窒息するおそれがあります。
※幼児ベルトは正しい長さに調節してください。
- 調節ベルト**は調節ベルト取り出し口内に収納してください。ベルトが首に巻き付き、窒息するおそれがあります。
- 7kg未満の小さなお子さま**を座らせる場合には、必ず**インナークッション**を正しく取り付けて、お子さまの体にフィットした状態で使用してください。
- 車両シートベルト**に傷がある場合は、その座席に取り付けしないでください。
- チャイルドシートにお子さまが座った状態で運ばないでください。

注意

- 衝突事故や製品を落下させたときなど、1度でも強い衝撃を受けたチャイルドシートは、外見上の破損がなくても、**絶対に使用しないでください。**
- バックル**にゴミ、飲食物などが詰まって**離脱に差し込み**ない場合は修理の必要がありますので、当社のコンシューマープラザへお問い合わせください。
- 幼児ベルト**に傷がついたときは、ご使用にならないでください。修理の必要がありますので、当社のコンシューマープラザへお問い合わせください。
- お子さまがバックルボタンを押してしまう可能性があります。差込タングがバックルからはずれていないことを確認してください。はずれたときと本来の機能を果たさず、さらにベルトが首に巻き付くおそれがあります。
- お子さまがチャイルドシートに座っていないときでも、必ず車両シートベルトを固定しておいてください。急ブレーキをかけたときなど、車内に転がり、運転のさまたげとなります。
- ジュニアモードでご使用の場合、必ずベルトポジションナーを使用してください。衝突時、車両シートベルトから肩がはずれて危険です。

9. インナークッションの使いかた

インナークッションは、小さな赤ちゃんを保護するためのものです。お子さまの体重が7kg未満の場合には、インナークッションをお使いください。(工場出荷時、インナークッション頭部用の取り付けひもは、肩ベルト通し穴の上から2段目に取り付けられています)

危険

インナークッションは、誤った取り扱いをすると本来の機能を果たさず危険です。使い方をよく読み、正しく使用してください。

警告

- お子さまの体重が7kg未満の場合は、インナークッション頭部用と座面用を必ずセットで使用してください。
- 体重に問わず「前向き」使用時はインナークッションを使用しないでください。
- 後向き使用時、お子さまの体重が7kg以上の場合、インナークッション頭部用のみ使用できます。お子さまの体型に合わせて任意で使用してください。

注意

- はずしたインナークッションを車内に放置しないでください。急ブレーキをかけたときなど、車内に転がり、運転のさまたげになることがあります。
- チャイルドシートを持ち運ぶときは、インナークッションを持たないでください。

インナークッションの取りはずしと取り付け

① 本体背面裏で結んであるインナークッション頭部用の取り付けひもをほどく。
② 取り付けひもを正面から引き抜く。
③ バックルボタンを押して差込タングをバックルからはずす。
④ 股あてパッドを取り、インナークッション座面用をバックルから引き抜く。

●取り付けるときは、はずすときの手順を逆に行ってください。

1. お使いいただく前に

このたびは、コンビ チャイルドシートをお買い上げいただき、ありがとうございます。お子さまの安全のため、ご使用前に必ず本書を読み、十分ご理解の上、正しくご使用ください。

〈中古品のご使用について〉

- 使用履歴が不明な製品、特に事故歴の不明な製品は絶対に使用しないでください。
- ひび割れや大きな傷、止め金具のゆるみなどがある場合は、絶対に使用しないでください。衝突事故や製品の落下などにより強い衝撃が加わった可能性があります。

チャイルドシートは、交通事故などの場合にお子さまの傷害を軽減することを目的としており、必ずしも事故からお子さまを無傷で守るものではありません。また、チャイルドシートを使用するときは、必ず保護者のかたが同乗してください。

●表示について

本書では、安全に正しくご使用いただくため重要な事項を「危険」、「警告」、「注意」の表示で説明しております。重要事項が守られなかった場合に予想される、危害・損害の切迫度や大きさにより区分したもので、大変重要な内容です。必ずお守りください。

表示	表示の内容
危険	誤った取り扱いをすると、人が死または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される内容です。
警告	誤った取り扱いをすると、人が死または重傷を負う可能性が想定される内容です。
注意	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害が起こる可能性が想定される内容です。

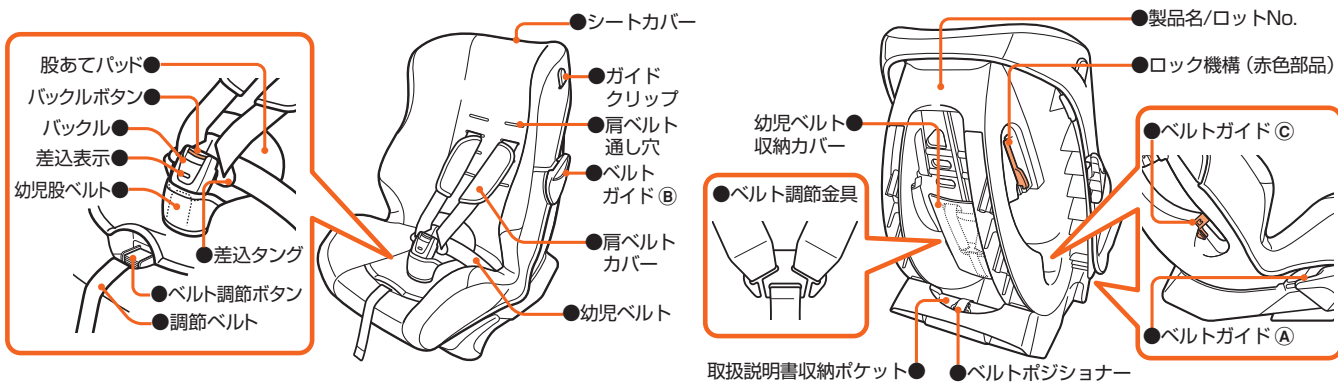
チャイルドシートを使用するときは、必ず保護者のかたが同乗してください。

2. 各部のなまえ

ご使用前に、各部品がそろっていることをご確認ください。

梱包内容

- 本体
- インナークッション(頭部用、座面用)
- ※工場出荷時、インナークッション座面用にウレタンが取り付けられています。
- 取扱説明書(本書)
- お客様登録カード



取扱説明書収納ポケット

6. 取り付けできない座席

下記の条件のいずれか1つでもあてはまる場合は、その座席ではお使いいただけません。

下記以外の座席でも、チャイルドシートをしっかりと固定できない場合には使用しないでください。

- 車両シートベルトが付いていない座席。
- 2点式シートベルトの座席。
- 座面の奥行きが40cm未満の座席。
- 極端な「ケットシート」…座席の中央が深くへこんでいる座席。
- 進行方向に対して横向き、または後向きの座席。

- ヘッドレスト部が極端に出っっぱっている座席
※車のヘッドレストが取りはずせる場合は、取りはずすことで操作が可能になれば、その座席でも取り付けできます。
- バッシュシートベルトの付いた座席。
※バッシュシートベルトとは…車の座席に座ってドアを閉めると、自動的にシートベルトを装着してくれる装置のこと。(オートマチックシートベルト)
- エアバッグ装備の座席。
…サイドエアバッグのみの場合には使用できます。

- 車両シートベルトが座席の中間から出ている座席。
…チャイルドシートのシートベルト通し穴の位置よりも、前方からシートベルトが出てくる座席。
- 座席の凹凸が極端で、取り付けたときに不安定になる座席。
- 車両シートベルトの取り付け幅が32cm未満の座席。
※車両シートベルトが座席の端にあっていることから、バックルの付け根までの長さ。
- 車両シートベルトの長さが極端に短い座席。

3. 品質保証書

品質保証書

コンビ チャイルドシート

本書は、本書記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。お買い上げの日から下記期間中製品の故障が発生した場合は、本書をご提示の上、当社コンシューマープラザ、または、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

品質保証期間

製品名

ロットNo. (本書背面のシールを必ずご確認ください)

お買い上げ日

年 月 日

お名前

〒 TEL

販売店

TEL

修理メモ

保証規定

1. 一度に使用した製品は、原則としてお買い替えできません。
2. 保証期間内(お買い上げ日より1年間)に正常な状態にあり、万が一、故障した場合に無料で修理いたします。電話にてお問い合わせください。当社コンシューマープラザにて修理いたします。
3. 保証期間外の場合は、修理費用の負担となります。
4. 保証期間外の場合は、修理費用の負担となります。
5. 保証期間外の場合は、修理費用の負担となります。
6. 保証期間外の場合は、修理費用の負担となります。
7. 保証期間外の場合は、修理費用の負担となります。
8. 保証期間外の場合は、修理費用の負担となります。
9. 保証期間外の場合は、修理費用の負担となります。
10. 保証期間外の場合は、修理費用の負担となります。

Combi コンビ ウィゴーロングシリーズ

184396000 20.10

7. 安全にお使いいただくために

危険

- 使用条件に**適合しないお子さま**や、**取り付けできない座席**などでは、使用しないでください。
- 車に取り付けるときは、車両シートベルトを取扱説明書および本体表示に従って正しく通して取り付けてください。誤った部分を通して取り付けないでください。
- 車両シートベルトおよび座席の種類により、**取扱説明書**と併せてチャイルドシートをしっかりと固定できないときは、他の座席に取り付けてください。
- 車に取り付けるときは、必ず**車両シートベルトで固定**してください。ひもなど、車両シートベルト以外のものでも固定しないでください。

緊急時の脱出

事故など緊急時は、保護者のかたがバックルボタンを押し、幼児ベルトをはずして、すみやかにお子さまを車外に脱出させてください。

8. 日常の点検

チャイルドシートの本来の機能を果たすため、走行前には次の事項を点検してください。

点検項目

- 幼児ベルトがお子さまの体にフィットしていること(調節ベルトを引いてフィットさせてください)
- 差込タングがしっかりとバックルに差し込まれ、差込表示が緑に変わっていること
- チャイルドシートが車両座席にしっかりと固定されていること(本体座面の側面部を持ち前後にゆすり、確認してください)
- 幼児ベルトが正しい位置になるように、肩ベルト通し穴が調節されていること
- 車両シートベルトにゆるみ、たるみ、ねじれがないこと
- 車両シートベルトの差込金具がしっかりと車両バックルに差し込まれていること
- 幼児ベルトにねじれやたるみがないこと
- お子さまの骨盤をしっかりと拘束するように、必ず**幼児腰ベルト**を低く下げること

10. シートカバーの取りはずしかた・取り付けかた

シートカバーの取りはずしかた

- ① 本体背面の幼児ベルト収納カバーをはずす
- ② 左右の幼児ベルトをベルト調節金具からはずす
- ③ 幼児ベルトを肩ベルトカバーから引き抜く。
※左右の肩ベルトカバーは、連結ベルトにより本体背面でつながっています。
- ④ 左右の肩ベルトカバーを本体背面から片方ずつ引き抜く。
- ⑤ シートカバー上部を左右のベルトクリップ通し穴からはずし、左右側面2カ所の取付ひもとフックをはずし、シートカバーをはずす。

シートカバーの取り付けかた

- ① 幼児ベルト収納カバー
- ② ベルト調節金具
- ③ 肩ベルトカバー
- ④ 肩ベルトカバー
- ⑤ シートカバー上部を左右のベルトクリップ通し穴からはずし、左右側面2カ所の取付ひもとフックをはずす。

11. お手入れ、保管・廃棄のしかた

シートカバーなど縫製製品の洗いかた

洗濯時は次のことを守ってください。

- 十分にすすぎ、軽く脱水した後、形を整えて陰干ししてください。
- アイロン掛けはしないでください。
- 乾燥機の使用やドライクリーニングはできません。
- 本体、幼児ベルトのお手入れのしかた

本体、幼児ベルトのお手入れのしかた

通常は固くしぼった布で水ぶきしてください。汚れがひどい場合は、中性洗剤を水で薄めた液で汚れを落としてから水ぶきし、日陰で乾燥させてください。

ウレタンについて

- シートカバーなどの縫製製品の裏側のウレタンに染料が付着することがありますが、品質上問題なく、安心してお使いいただけます。
- インナークッションを洗濯するときは、中に入っているウレタンを取りはずしてください。

保管のしかた

本 体

長期使用しないときは、車から降ろし、直射日光が当たらず風通しの良い、お子さまの手の届かない場所に保管してください。

取扱説明書

ご使用前に必ず本書を読み、十分ご理解の上、本体台座の収納ポケットに保管してください。

廃棄のしかた

●お住まいの自治体の規程に従い処分、廃棄してください。

●衝突事故や製品を落下させたときなど、1度でも強い衝撃を受けたチャイルドシートは、外見上の破損がなくても絶対に使用しないでください。事故により処分する場合は、本製品が再利用されないようにシートカバーなどをはずして、廃棄してください。

警告

中性洗剤を原液で使用したり、ガソリン、ベンジンなど有機溶剤の使用はおやめください。本体および幼児ベルトをいためるおそれがあります。

製品を安全に正しくお使いいただくために

製品を正しく安全にお使いいただくための情報を、当社ホームページでご案内しております。下記のホームページをご覧ください。

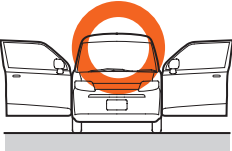
www.combi.co.jp/soudan/after/safetyinfo.html

12. 取り付け準備

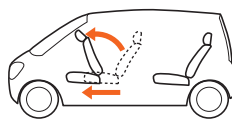
- 危険**
- チャイルドシートがしっかり固定できない場合は、本来の機能を果たさず大変危険ですので、他の座席に取り付けてください。
 - 車に取り付けるときは、ひもなど、車両シートベルト以外のものでも固定しないでください。
 - エアバッグ装備の座席では、チャイルドシートを使用しないでください。衝突時、エアバッグの作動により大きな衝撃を受け、危険です。
※サイドエアバッグのみの場合には使用できます。
- 警告**
- 車両シートベルトに傷がある場合は、その座席に取り付けられないでください。
 - お子さまがチャイルドシートに座っていないときでも、必ず車両シートベルトで固定しておいてください。
 - エアバッグ装備のない助手席にチャイルドシートを取り付け、後向きで使用する場合、ドアミラーが見えにくい場合は後座席に取り付けてください。
 - シフトレバーやパーキングブレーキなどの運転操作に支障をきたす場合は、助手席に取り付けられないでください。
 - 2ドアや3ドアの車で後座席に人が乗る場合は、チャイルドシートを助手席に取り付けられないでください。緊急時の脱出のさまたげになります。

取り付け作業の前に

- 1** 取り付け作業は、ドアが全開可能な、平らな場所で行ってください。

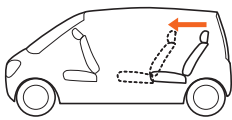


- 2** 車内の作業スペースを確保するため、前座席を倒したり、スライドさせてから取り付けてください。



取り付け座席のスライド機能について

取り付け手順終了後に取り付け座席を前にスライドさせると、より確実に固定できます。



車両ヘッドレストについて

車両座席形状や車両ヘッドレストを確認し、車両ヘッドレストが取りはずせる場合は、取りはすしてください。

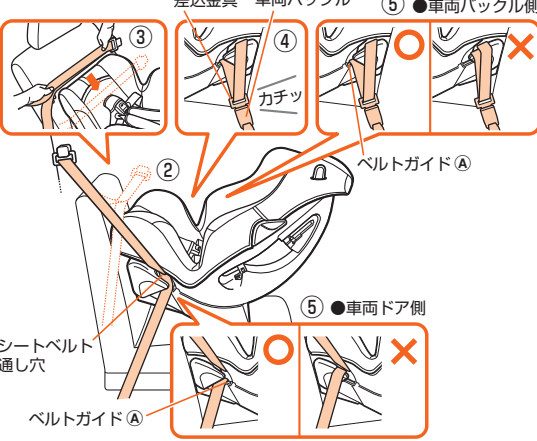


下記のサイトにて取扱説明動画を提供しておりますので、ご確認ください。
www.combi.co.jp/soudan/after/manual_dvd.html

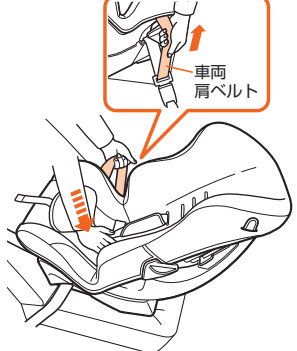


13. ベビーモード (体重 10kg 未満のお子さま) の取り付け

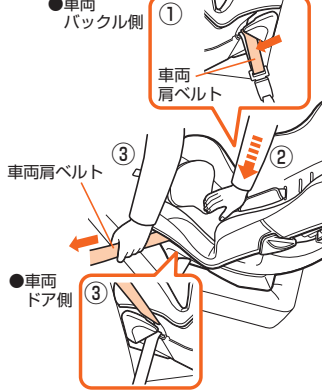
- 1**
- ① 本体を車両進行方向に対し後向きに置く。
 - ② 車両シートベルトをねじらないようにゆっくり引き出す。
 - ③ 車両腰ベルトと車両肩ベルトを重ねて、座面先端から滑らすようにシートベルト通し穴に通す。
 - ④ 差込金具を車両バックルに「カチッ」と音がするまで差し込む。
 - ⑤ 車両腰ベルトを左右のベルトガイド④に通す。



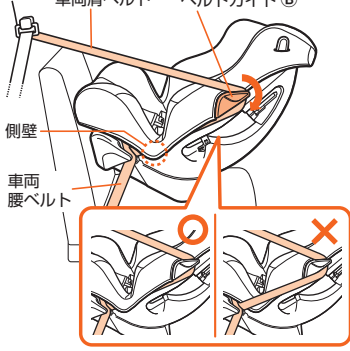
- 2** 本体を車両座席に押し付けながら、車両肩ベルトを引き、車両腰ベルトのゆるみをとる。



- 3**
- ① 車両肩ベルトを車両バックル側のベルトガイド④に通す。
 - ② 本体を車両座席 (矢印の方向) に押し付けながら、
 - ③ 車両ドア側から車両肩ベルトを手前に引く。



- 4** 車両肩ベルトを強く引いたまま側壁の下をくぐらせ、車両ドア側のベルトガイド④にはさみ込む。



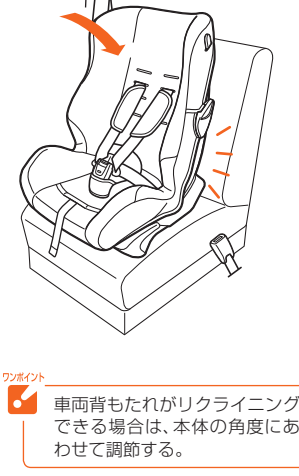
- 警告**
- 車両バックルがベルトガイド④にあたることで、バックルベルトにゆるみができると、取り付けが不安定になります。バックルベルトにゆるみがある状態では、使用しないでください。
 - バックルベルトの根元が、ベルトガイド④より前から出ている座席では、取り付けが不安定になる場合があります。
 - ※取り付けの車種によっては、別売りの「フィットマット」が必要な場合があります。必ず取付確認車種リストをご確認ください。
- ベルトガイド④に車両バックルがあたっている。
- ベルトガイド④ ベルトガイド④
- ご不明な点は、当社のコンシューマープラザへお問い合わせください。

- 5** チャイルドシートの取り付け角度を調節する。車両座席に本体底面、車両背もたれに座面先端が接地していることを確認する。
- 座席先端
- 本体底面
- 本体底面と座席先端が接地している。
- 本体底面のみ接地している。
- 座席先端のみ接地している。
- チェック
- チャイルドシートを後向きで取り付けるときの目安として、表面の「角度チェッカー」をお使いください。

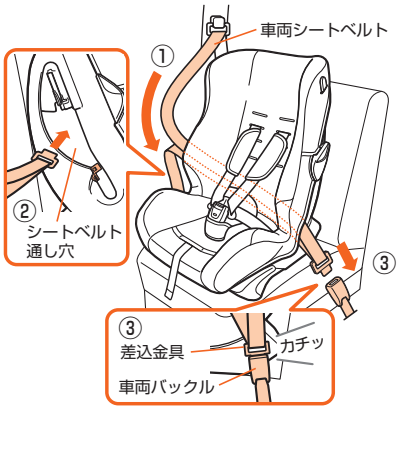
- ベビーモード取り付け完了チェックのしかた**
- 取り付けが終わったら、正しく取り付けられているか次のことを確認してください。
- ① 車両シートベルトの差込金具が車両バックルに確実に差し込まれており、はずれないこと。
 - ② お子さまの体重が7kg未満の場合は、インナークッションが取り付けられていること。
 - ③ 車両腰ベルトが左右のベルトガイド④を通過していること。
 - ④ 車両肩ベルトが車両バックル側のベルトガイド④を通過していること。
 - ⑤ 車両シートベルトが車両ドア側のベルトガイド④を通過していること。
 - ⑥ 車両シートベルトにたるみがないこと。
 - ⑦ 車両座席に本体底面、車両背もたれに座面先端が接地していること。
 - ⑧ 本体座席の側面部分を持ち前後にゆすり、しっかりと取り付けられていることを確認すること。
※チャイルドシートの構造上、本体が左右に動きますが、使用上問題ありません。

14. チャイルドモード (体重 9kg 以上 18kg 以下のお子さま) の取り付け

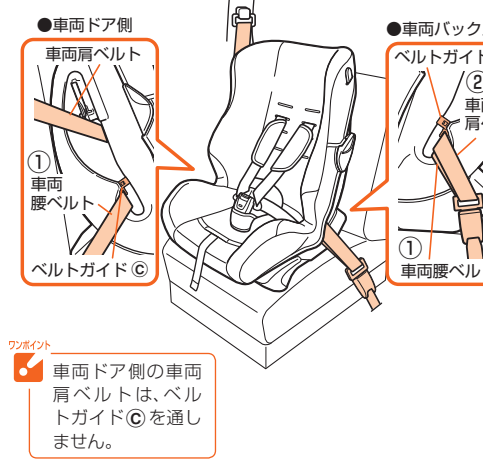
- 1** 本体を車両進行方向に対し前向きにし、車両座席の背もたれに接するように置く。



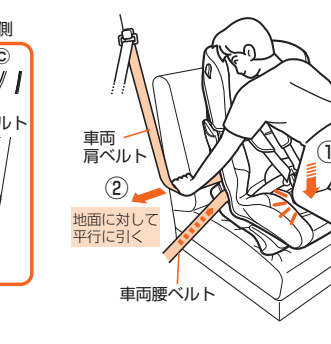
- 2**
- ① 車両シートベルトをねじらないようにゆっくり引き出す。
 - ② シートベルト通し穴に通す。
 - ③ 反対側の通し穴から引き出し、差込金具を車両バックルに「カチッ」と音がするまで差し込む。



- 3**
- ① 車両腰ベルトが左右のベルトガイド④にかかるように通す。
 - ② 車両肩ベルトが車両バックル側のベルトガイド④にかかるように通す。



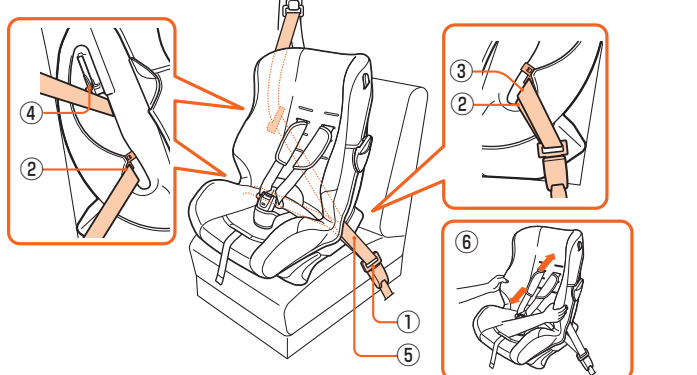
- 4**
- ① 座面の奥にひざを乗せて体重をかけ、車両座席に本体を沈み込ませる。
 - ② 車両肩ベルトを矢印の方向 (地面に対して平行) に強く引き、車両腰ベルトのゆるみをとる。



- ③ 車両肩ベルトを強く引いたまま、車両ドア側の赤色のロック機構を開く。
- ④ 開いてできたすき間の上まで車両肩ベルトをはさみ込み、ロック機構を押し込み閉める。
- 車両肩ベルト
- ロック機構
- 車両腰ベルト
- 車両肩ベルト
- 車両腰ベルト

- 警告**
- 車両バックルがベルトガイド④にあたることで、バックルベルトにゆるみができると、取り付けが不安定になります。バックルベルトにゆるみがある状態では、使用しないでください。
 - バックルベルトの根元が、ベルトガイド④より前から出ている座席では、取り付けが不安定になることがあります。
 - ※取り付けの車種によっては、別売りの「フィットマット」が必要な場合があります。必ず取付確認車種リストをご確認ください。
- ご不明な点は、当社のコンシューマープラザへお問い合わせください。

- チャイルドモード取り付け完了チェックのしかた**
- 取り付けが終わったら、正しく取り付けられているか次のことを確認してください。
- ① 車両シートベルトの差込金具が車両バックルに確実に差し込まれており、はずれないこと。
 - ② 車両腰ベルトが左右のベルトガイド④を通過していること。
 - ③ 車両肩ベルトが車両バックル側のベルトガイド④を通過していること。
 - ④ 車両肩ベルトが車両ドア側のロック機構を通過していること。
 - ⑤ 車両シートベルトに、ゆるみ・たるみがないこと。
 - ⑥ 本体座席の側面部分を持ち前後にゆすり、しっかりと取り付けられていることを確認すること。



15. お子さまにあわせた幼児肩ベルトの調節のしかた (ベビーモード・チャイルドモード)

幼児肩ベルト通し穴の位置は、ベビーモードとチャイルドモードで選ぶ位置が異なります。本製品をご使用前に、下記の幼児肩ベルト位置を目安に調節してください。※幼児股ベルトは調節できません。(工場出荷時、幼児肩ベルトは1番下の幼児肩ベルト通し穴に設定されています)

- 警告**
- 幼児肩ベルト通し穴位置は、モードによって適正な位置を選んで使用してください。
 - 幼児肩ベルト通し穴は左右同じ高さの穴を使用してください。

幼児肩ベルト通し穴の位置

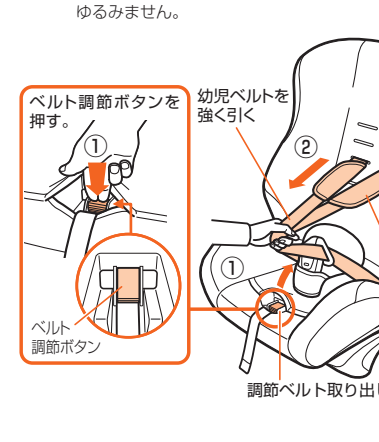
- ベビーモード**
- 幼児肩ベルトがお子さまの肩と同じか、肩より低い位置で使用してください。



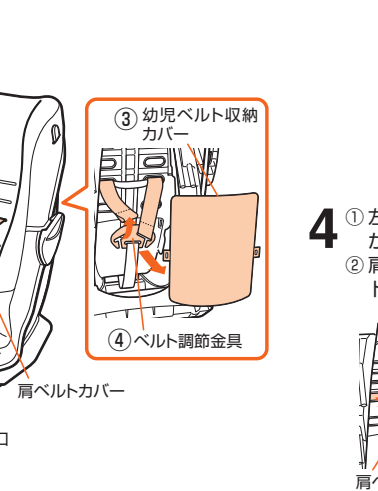
- チャイルドモード**
- 幼児肩ベルトがお子さまの肩と同じか、肩より高い位置で使用してください。



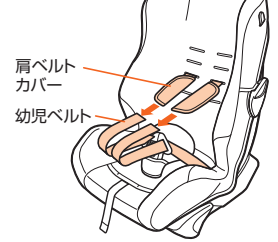
- 1**
- ① 調節ベルト取り出し口をめくり、ベルト調節ボタンの奥側を押しながら、
 - ② 左右の幼児ベルトの両方を持ち、斜め下方向に引き出す。
※肩ベルトカバーを引いても、幼児ベルトはゆるみません。



- 2**
- ③ 本体背面の幼児ベルト収納カバーをはずす。
 - ④ ベルト調節金具から幼児ベルトをはすす。



- 3** 幼児ベルトを肩ベルトカバーから引き抜く。



- 5**
- ① 肩ベルトカバーに幼児ベルトがねじれないように注意しながら通し、
 - ② 本体背面から引き出す。



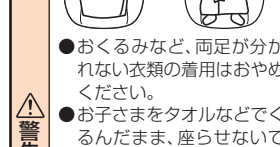
- 6**
- ① 幼児ベルトをベルト調節金具に取り付け、
 - ② 幼児ベルト収納カバーを上下に注意し、取り付ける。



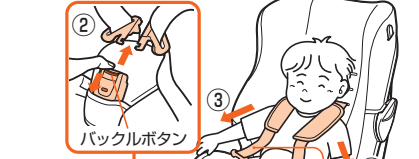
- 4**
- ① 左右の肩ベルトカバーを本体背面から片方ずつ引き抜く。
 - ② 肩ベルトカバーを適正な幼児肩ベルト通し穴に通す。



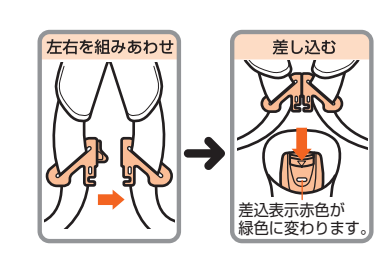
- 警告**
- お子さまを乗せるときは、厚手の上着は脱がせてください。しっかりと拘束されない場合があります。
 - おくのみなど、両足が分れない衣類の着用はおやめください。
 - お子さまをタオルなどでくるんだまま、座らせないでください。
 - お子さまを座らせるときには、下図のような座らせかたをしないでください。チャイルドシートが本来の機能を果たさず、危険をまねくおそれがあります。



- 1**
- ① 「お子さまにあわせた肩ベルトの調節のしかた」の手順1の作業を行う。
 - ② バックルボタンを押し、差込タンクを抜く。
 - ③ お子さまを深く座らせて、左右の腕を幼児ベルトに通す。
 - ④ 左右の幼児ベルトがねじれていないか確認する。



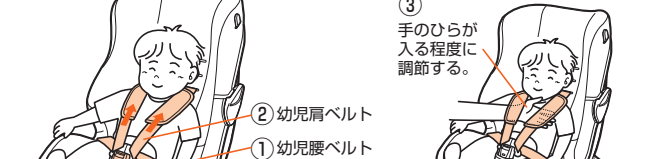
- 2** 左右の差込タンクを組み合わせてから「カチッ」と音がするまで、差込タンクをバックルに差し込む。



- 警告**
- バックルのボタンは、お子さまの力でははずれないように固くしてあります。

- 警告**
- 左右の差込タンクが、確実にバックルに差し込まれていないと、衝突時にお子さまが飛び出したり、ベルトが首に巻き付き、窒息するおそれがあります。

- 3** 幼児ベルトを短く調節する。
- ① 幼児腰ベルトは、必ず腰骨のできるだけ低い位置にかかるようにし、腰部に密着させる。
 - ② 幼児肩ベルトは、必ず肩の中央に十分かかるようにする。
 - ③ 調節ベルトを手前に引き、お子さまと幼児ベルトの間に、大人の手のひらが入る程度に幼児ベルトの長さを調節する。

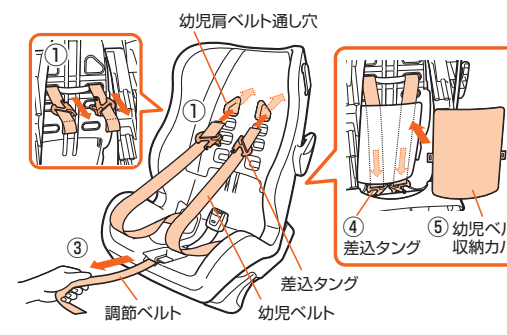


- 警告**
- 必ず幼児ベルトの長さを調節してください。お子さまの体にフィットしていません。衝突時にお子さまが飛び出したりするおそれがあります。
 - 幼児ベルトをゆるめるときは、「お子さまの座らせかた」手順1を参照してください。

17. ジュニアモードの準備

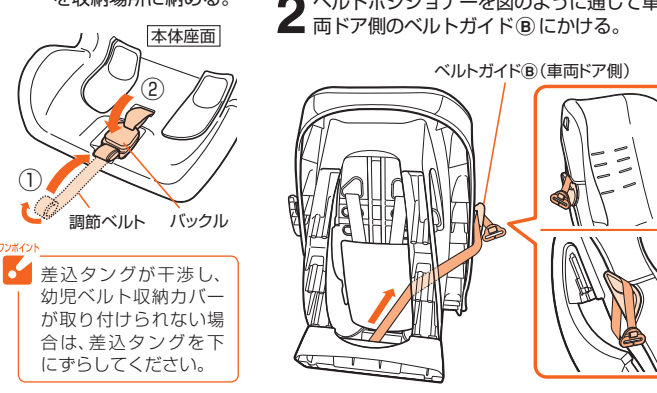
ベビーモードまたはチャイルドモードで使用していたバックル、幼児ベルトなどを収納します。

- 1** シートカバー・肩ベルトカバーを取りはすす。
本書表面「10. シートカバー」の取りはすしかた」参照。
- 2**
- ① 幼児肩ベルト通し穴の最上段に、差込タンクと一緒に幼児ベルトを通し、本体背面から引き出す。
 - ② 幼児ベルトをベルト調節金具に取り付ける。
※「15. お子さまにあわせた幼児肩ベルトの調節のしかた」手順6参照。
 - ③ 調節ベルトを手前に最大限引く。
 - ④ 差込タンクを下に押し下げる。
 - ⑤ 幼児ベルト収納カバーを上下に注意し、取り付ける。

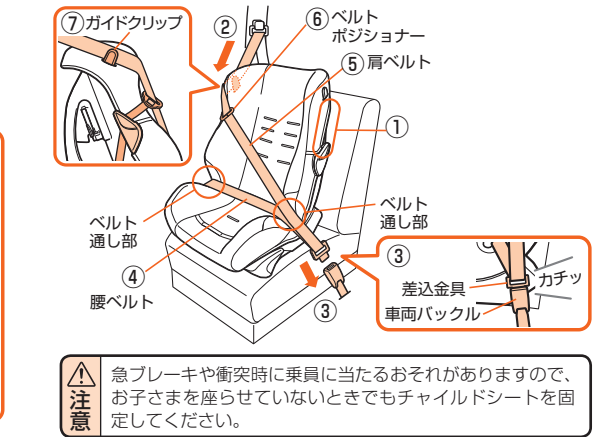


18. ジュニアモード (体重 15kg 以上 25kg 以下のお子さま) の取り付け

- 1** 収納用ポケットからベルトポジションナーを取り出す。



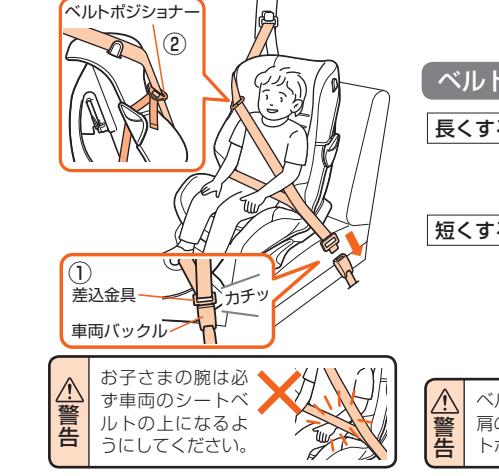
- 3**
- ① 本体を車両進行方向に対し前向きにし、車両座席の背もたれに接するように置く。
 - ② 車両シートベルトを引き出し、
 - ③ 「カチッ」と音がするまで差込金具を車両バックルに差し込む。
 - ④ 車両腰ベルトを左右のベルト通し部に通す。
 - ⑤ 車両肩ベルトを車両バックル側のベルト通し部に通す。
 - ⑥ 車両肩ベルトをベルトポジションナーに通す。
 - ⑦ 車両肩ベルトをガイドクリップに通す。



- 警告**
- 保護者のかたの補助なしで、お子さまが1人で乗り降りすると、車両座席からすれ落ちたり倒れたりするおそれがあります。必ず保護者のかたが乗せ降ろしをしてください。
 - お子さまを図のように座らせると、チャイルドシートが本来の機能を果たさず、危険です。
 - ・のけぞる、前かがみになる
 - ・お子さまが、体を左右どちらかに傾けて座っている。
 - ・中腰、正座、立てひざなどをとする

19. お子さまの座らせかた (ジュニアモード)

- 1**
- ① バックルをいったんはずし、お子さまを深く座らせ、車両シートベルトを引き出して「カチッ」と音がするまで差込金具を車両バックルに差し込む。
 - ② お子さまにあわせ、ベルトポジションナーの長さを調節する。



ベルトポジションナーの正しい位置

右図のように、車両肩ベルトがお子さまの肩にかかるようにベルトポジションナーを調節する。



ベルトポジションナーの調節のしかた

長くする場合



短くする場合



- 警告**
- ベルトポジションナーは車両シートベルト (肩ベルト) がお子さまの正しい肩の位置で締められるように調節するものです。お子さまが成長し、ベルトポジションナーが低くなったときは、高さを調節しなおしてください。

ベルトの通しかた

ベルトがはずれてしまった場合は、図のようにベルトを通す



ジュニアモード取り付け完了チェックのしかた

お子さまを座らせ、車両シートベルトを締めたら、次のことを確認してください。

- ① 車両座席と本体の間に大きなすき間がないこと。
- ② 車両肩ベルトがベルトポジションナーを通り、お子さまの首を圧迫していないこと。また肩からはずれていないこと。
- ③ 車両シートベルトがお子さまの体に密着していて、ねじれたるみがないこと。
- ④ 車両腰ベルトがお子さまの腰骨を押さええていること。
- ⑤ 車両シートベルトの差込金具が車両バックルに確実に差し込まれており、はずれないこと。
- ⑥ 車両腰ベルトが左右のベルト通し部を通過していること。
- ⑦ 車両肩ベルトが車両バックル側のベルト通し部を通過していること。
- ⑧ 車両肩ベルトが車両ドア側のガイドクリップを通過していること。

